郡市区等医師会 御中

大阪府医師会(公印省略)

「感染症発生動向調査情報(第9週)」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供 申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

http://www.iph.pref.osaka.jp/

【問合せ先】

大阪府医師会·地域医療 1 課 TEL 06-6763-7012

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2025年第9週(2月24日~3月2日)

今週のコメント

~感染性胃腸炎~ 手洗いの励行、排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「感染性胃腸炎 前週と同水準で推移」

第9週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,785例であり、前週比3.2%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、水痘の順で、定点あたり報告数はそれぞれ10.61、1.82、0.94、0.25、0.22である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比2%減の2,059例で、南河内14.31、大阪市南部13.33、中河内12.74、三島11.06、北河内10.40であった。

RSウイルス感染症は1%減の354例で、大阪市北部3.15、南河内3.13、北河内2.84である。

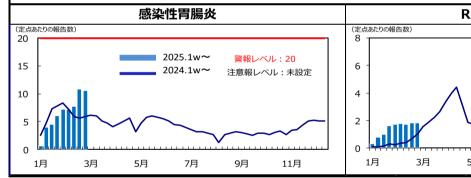
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は21%減の183例で、大阪市南部2.11、北河内1.16、泉州1.15であった。

咽頭結膜熱は2%増の49例で、南河内0.56、中河内0.47、大阪市西部0.40である。

水痘は8%増の43例で、豊能・大阪市南部0.50、中河内0.32であった。

インフルエンザは2%増の527例で、定点あたり報告数は1.75である。南河内3.58、北河内2.76、大阪市西部2.40、中河内2.20、大阪市東部2.05であった。北河内、中河内、南河内、大阪市東部、大阪市南部では増加していた。

新型コロナウイルス感染症は8%減の862例で、定点あたり報告数は2.85である。堺市3.55、北河内3.51、南河内3.42、泉州3.33、中河内2.77であった。



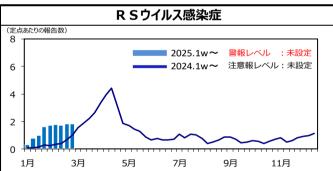


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2025年第9週2月24日~3月2日)

第9週の 順位	第8週の 順位	感染症	2025年 第9週の 定点あたり 報告数	前週比增減	2024年 第9週の 定点あたり 報告数	2025年第9週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	10.61	2%減	5.92	10-14歳_14%
2	2	RSウイルス感染症	1.82	1%減	1.02	1歳未満_38%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.94	21%減	3.06	10-14歳_16%
4	5	咽頭結膜熱	0.25	2%增	0.42	1歳_39%
5	6	水痘	0.22	8%增	0.13	9歳,10-14歳_21%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	1.75	2%增	8.95	10-14歳_25%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	2.85	8%減	4.79	80歳以上_14%

2024年は、速報値で大阪府では112例、全国では2,419例の報告がありました。

全数把握感染症

レジオネラ症

レジオネラ症は、レジオネラ・ニューモフィラ (Legionella pneumophila) を代表とするレジオネラ属菌による細菌 感染症である。

レジオネラ属菌は、土壌や水環境に、普遍的に存在する 菌であり、人工環境(噴水等の水景施設、ビル屋上に立 つ冷却塔、ジャグジー、加湿器等)や循環水を利用した 風呂から発生したレジオネラ属菌を含むエアロゾルを吸入す ることで感染する。

病型として肺炎型と、一過性で自然に改善するポンティアック熱型がある。ヒトーヒト感染はない。

細胞性免疫機能が低下したとトでは肺炎を起こす危険性が通常より高いので、特に留意する必要がある。高齢者、新生児、大酒家、重喫煙者、透析患者、悪性疾患・糖尿病・AIDS患者などはハイリスク・グループである。

レジオネラ症とは(国立感染症研究所) レジオネラ症(大阪府感染症情報センター)

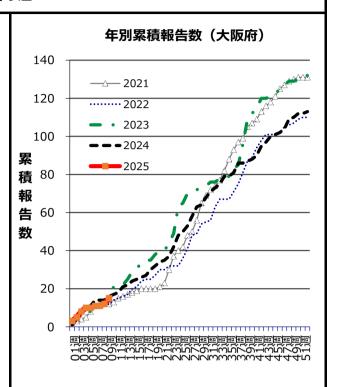


表 2. 大阪府全数報告数(2025年 第9週2月24日~3月2日)

注意:この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	二島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数
	E型肝炎	1								1	1
4 類感染症	A型肝炎	1								1	1
4 規念未址	レジオネラ症(肺炎型)	2								2	15
	レジオネラ症(ポンティアック熱型)	1		1							13
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5						4		1	20
	急性脳炎	1								1	4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			1						30
】 5類感染症	後天性免疫不全症候群	1								1	22
3 規恩呆症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1						1			10
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	1		1		1	1	1	2	85
	梅毒	8		1				1	1	5	268
	百日咳	23			5	1	4		9	4	201
 結核	結核 新登録患者数:73名 (内 肺·喀痰塗抹陽性 23名)										
(2024年12月分)	(府内累積報告数 1,118名、内 肺・喀痰塗抹陽性 423名)										

第9週 2025年2月24日~2025年3月2日 (ブロック別) (年齢別) 年齢 合 計 区分 ブロック名 大阪市 大阪市 大阪市 大阪市 歳 歳 ケ 豊能 三島 北河内 中河内 南河内 堺市 泉州 北部 西部 東部 南部 月 歳 歳 歳 歳 か 歳 小 児 科 未 未 定点数 満 合計 歳 疾病名 インフルエンサ゛ 疾病名 RSウイルス感染症 咽 咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 Α 小 感染性胃腸炎 感 児 科 定 水痘 水 手足口病 手 握 伝染性紅斑 伝 患 突発性発しん 突 ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎 把 眼 急性出血性結膜炎 握 科 疾 定 流行性角結膜炎 流 患点 合 244 | 273 | 174 | 115 | 154 | 321 合計 104 161 376 239 213 225 183 159 151 54 | 183 計 細菌性髄膜炎 基 幹 無菌性髄膜炎 定 点 マイコプラズマ肺炎 マ 把 握 クラミジア肺炎(オウム病を除く) ク 疾 患 感染性胃腸炎(□タウイルス) イ定 インフルエンザ

(ブロック別) 第9週 2025年2月24日~2025年3月2日

<u> </u>	ツク別)															5	耜9逈 ∠	.02342	7240	~2025年3	ли
	ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	大阪市	09 大阪市	10 大阪市	大阪市	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合 計	上位 5疾患
	マ上粉	22	17	25	10	16	10	20	北部	西部	東部	南部	83	56	19	11	0	9	0	194	順位
	定点数 小 児 科 眼 科	5	17 4	6	19 5	16 4	19 5	20 6	13 5	10	15 6	18	20	17	5	11	8	2	8	52	
	基幹	2	2	2	2	2	2	2	, J				8	4	2	1	2	0	1	18	
疾症	\	35	27	41	30	24	29	33	19	15	22	27	133	83	29	17	13	14	13	302	
	RSウイルス感染症	⊽ 26	⊽ 5	△ 71	△ 38	⊽ 50	26	△ 39	△ 41	▽ 12	▽ 22	24	124	99	26	▲ 27	▼ 3	▽ 11	△ 29	354	2
	咽頭結膜熱	△ 3	▽ 1	△ 4	9	△ 9	∇ 4	▲ 7	⊽ 3	4 4	△ 2	3	△ 24	▽ 12	∇ 4	▽ 2	0	0	0	49	4
小	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	▽ 12	▲ 13	29	14	▽ 16	▽ 20	23	▼ 2	7	▽ 9	38	66	▽ 56	▽ 20	7	2	▽ 4	△ 12	▽ 183	3
児科	感染性胃腸炎	190	188	260	242	229	187	194	122	89	118	240	726	569	187	151	82	▽ 99	91	2059	1
定点	水痘	△ 11	▽ 2	▽ 2	△ 6	△ 5	▽ 4	▽ 4	▽ 0	0	▽ 0	△ 9	▽ 15	△ 9	▽ 4	△ 2	0	△ 9	0	43	5
把握	手足口病	△ 3	0	▼ 0	4	△ 1	△ 1	▽ 0	1	0	0	0	▽ 1	1	△ 1	0	0	1	▼ 0	10	
疾患	伝染性紅斑	7	▽ 3	△ 12	▽ 2	△ 2	△ 1	▽ 0	△ 1	0	0	2	△ 14	△ 3	△ 1	▽ 1	▲ 3	▽ 1	△ 4	30	
	突発性発しん	2	△ 1	▽ 5	9	▲ 7	▽ 1	3	△ 4	0	▲ 3	△ 2	14	△ 9	▽ 1	▽ 5	0	▲ 2	▽ 2	37	
	ヘルパンギーナ	0	1	▽ 0	▽ 0	0	0	0	0	0	0	0	▽ 1	0	0	0	0	0	0	▽ 1	
	流行性耳下腺炎	0	△ 1	△ 2	△ 1	1	▽ 0	▲ 2	0	▲ 3	0	△ 1	△ 4	4 4	▽ 0	△ 1	△ 1	0	0	▲ 11	
把眼握科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疾定患点	流行性角結膜炎	1	1	▽ 0	▽ 3	▽ 0	0	▽ 1	▽ 0	0	0	2	▽ 2	▽ 2	0	▽ 2	0	1	▽ 0	∇ 8	
	合 計	255	216	385	328	320	244	273	174	115	154	321	991	764	244	198	91	▽ 128	138	2785	
基	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	▽ 0	0		0			0	0	▽ 0	0	0	0	0	▽ 0	
幹定	無菌性髄膜炎	△ 1	0	0	0	0	0	0		0			△ 1	0	0	0	0	0	0	△ 1	
点 把	マイコプラズマ肺炎	0	△ 2	▼ 0	3	0	0	0		2			0	△ 2	0	▽ 2	△ 2	0	▼ 0	A 7	
握疾	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	1	0	0	0		1			0	△ 1	0	1	0	0	0	A 2	
患	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	▽ 0	△ 1	1	0	△ 2	▼ 1	0		2			△ 2	△ 2	▼ 1	0	△ 1	0	1	△ 7	
イ定	インフルエンザ	43	30	△ 113	4 66	▲ 86	▽ 23	▼ 24	29	36	4 45	△ 32	151	142	▽ 23	△ 34	△ 19	23	△ 64	527	

全国感染症集計 2025年08週(02月17日~02月23日)

<u> </u>	
1~4類(全数把握)	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
	U
ペスト	0
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
新型インフルエンザ(A/H1N1)	0
急性灰白髄炎	0
結核	223
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウ	0
イルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	U
中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス	
属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	0
鳥インフルエンザ (H5N1)	0
鳥インフルエンザ (H7N9)	0
コレラ	0
細菌性赤痢	1
腸管出血性大腸菌感染症	27
腸チフス	0
パラチフス	0
E型肝炎	8
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)	0
A型肝炎	2
エキノコックス症	0
エムポックス	0
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	0
キャサヌル森林病	0
Q熱	0
[文章] 狂犬病	0
<u>コクシジオイデス症</u>	0
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウ	0
イルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	0
腎症候性出血熱	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	0 2 1
デング熱	1
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	0
日本脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	
	0
発しんチフス	0
ボツリヌス症	0
マラリア	0
野兎病	0
ライム病	0
リッサウイルス感染症	0
リフトバレー熱	0
類鼻疽	0
レジオネラ症	26
レプトスピラ症	0
ロッキー山紅斑熱	0
注意 記載データは速報性を重視していますの	

5類感染症の一部(全数把握)	報告数
アメーバ赤痢	6
ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	3
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	19
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	0
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、	8
東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を	b
クリプトスポリジウム症	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	26
後天性免疫不全症候群	7
ジアルジア症	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	9
侵襲性髄膜炎菌感染症	1
侵襲性肺炎球菌感染症	51
水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限る。)	3
先天性風しん症候群	0
梅毒	146
播種性クリプトコックス症	3
破傷風	0
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0
百日咳	358
風しん	0
麻しん	3
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	10866	2.21
COVID-19	24343	4.95
R Sウイルス感染症	3775	1.21
咽頭結膜熱	909	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7616	2.44
感染性胃腸炎	32220	10.32
水 痘	833	0.27
手足口病	174	0.06
伝染性紅斑	1744	0.56
突発性発しん	623	0.20
ヘルパンギーナ	17	0.01
流行性耳下腺炎	100	0.03
急性出血性結膜炎	20	0.03
流行性角結膜炎	565	0.82
細菌性髄膜炎	11	0.02
無菌性髄膜炎	15	0.03
マイコプラズマ肺炎	178	0.37
クラミジア肺炎(オウム病を除く。)	3	0.01
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	52	0.11

22.11	インノルエンザ/COVID-19	4918
	小児科	3121
基幹病院 47	眼科	693
	基幹病院	479

1月(月報)

報告数	定点当り
2217	2.28
798	0.82
492	0.51
701	0.72
1495	3.13
116	0.24
6	0.01
973	
477	
	2217 798 492 701 1495 116 6

基幹病院 の調査結果で若干変更が生じることがあります。

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) ブロック別 · 疾患別 · 年齢別患者発生数

(ブロック別)								第9週	2025年	2月24日	~2025£	₹3月2日
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	
ブロック名	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市 北部	大阪市 西部	大阪市 東部	大阪市 南部	合 計
COVID-19定点数	35	27	41	30	24	29	33	19	15	22	27	302
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	95	54	144	83	82	103	110	43	28	55	65	862
疾病名	定点あたり	O報告数										
新型コロナウイルス感染症	2.71	2.00	3.51	2.77	3.42	3.55	3.33	2.26	1.87	2.50	2.41	2.85
8週	3.57	2.59	3.76	2.73	3.17	3.34	4.73	2.84	1.93	2.14	1.78	3.11
7週	2.97	2.70	2.78	2.77	5.00	3.86	3.00	2.89	2.80	2.41	2.89	3.09
6週	3.40	3.19	4.61	4.63	5.79	5.14	4.15	2.68	3.00	2.86	3.22	3.99
5週	3.34	3.74	5.66	4.60	5.83	4.31	4.58	2.68	3.13	4.10	3.89	4.30
4週	3.14	3.22	4.66	4.20	4.46	4.55	4.70	2.05	3.13	3.00	3.59	3.83

(年齢別)

年齢区分	0歳	1歳 から 4歳	5歳 から 9歳	10歳 から 19歳	20歳 から 29歳	30歳 から 39歳	40歳 から 49歳	50歳 から 59歳	60歳 から 69歳	70歳 から 79歳	80歳 以上	合計
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	38	77	49	88	86	77	73	80	82	91	121	862
	1%	9%	6%	10%	10%	0%	8%	0%	10%	11%	1/1%	